

十勝南モデル地域圏域検討会 農業関係ワーキングチーム

(3)取組により期待される効果及び課題

令和4年度までの取組内容

■ 目的

十勝地域における**農業労働力不足の解消**や**農業労働の効率化**に資する取組を広域的に実施。

■ 内容

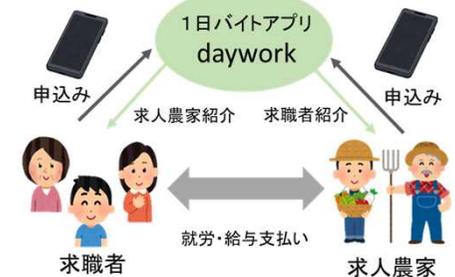
○WTメンバーでもある5JAが連携し、2019年に『とかちアグリワーク協議会設立準備会』を立ち上げ、取組を開始し、2021年から『とかちアグリワーク』として以下の取組を展開。参加団体は令和4年度末で22JAに拡大・発展（十勝管内23JA。）。

- ・労働力の掘り起こし（就業者募集のための説明会開催、農作業説明用YouTube動画の作成活用等）
- ・就業を希望する人と生産者とのマッチング（短期の就業について、1日バイトアプリdayworkを活用）
- ・生産者の意識改革・労働環境改善を促す研修会の実施や生産者啓発用YouTube動画「働きたい農家・働きたくない農家」を作成活用。
- ・令和4年度から酪農でのdayworkの利用向上に向けて、搾乳研修の実施、研修指導マニュアルの作成を始め、将来的に中長期の就業者の確保に繋がる取組を開始。

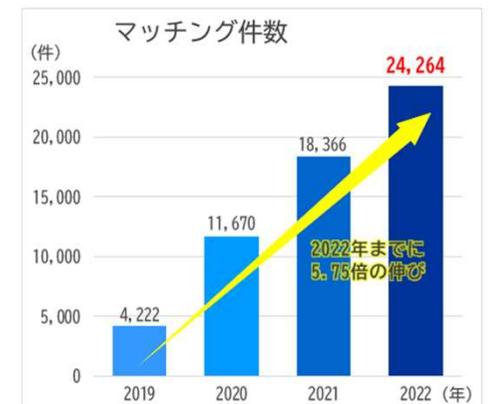
■ 取組の成果

- 2019年3月の運用開始から**約3.6万人**（全国。十勝管内の登録者は約0.59万人）が**1日バイトアプリdayworkに働き手として登録**。簡単にマッチングできるため、主に畑作の短期労働力確保に貢献。
- 2022年のマッチング実績は**2.4万件と3年目で2万件を突破**。
- 鹿児島県農業・農村振興協会やJA長野中央会がdayworkの活用マニュアルを作成する際にとかちアグリワークの動画を掲載したいとの問い合わせがある等、**とかちアグリワークの取組が全国区**になってきている。

【1日バイトアプリ「daywork」によるマッチングの仕組み】



【1日バイトアプリ「daywork」利用状況（2019年～）】



令和4年度までの取組から得られた課題(今後検討すべき事項)

● 酪農など中長期の就業者の確保への取組拡大

⇒酪農へのdayworkの活用に向けた搾乳研修の実施、研修済求職者の生産者とのマッチング。

● 短期農業労働力の更なる発掘・PR

⇒副業としてdayworkの活用も視野に。



取組により期待される効果(目指す姿)

生産者

収穫繁忙期や酪農における作業人員の確保
→ **短期及び中長期的な労働力不足の解消**



就労条件の見直し、職場環境改善への意識改革 等
→ **農業の就労の魅力向上**

就業者

農業への就業機会の増加
→ **将来的に農業就業者の増加**



食料安全保障を支える十勝地域の農業生産性の維持・向上